



TAKAOKA
UNIVERSITY OF LAW

大学案内2023

For the Future



学校法人 高岡第一学園

高岡法科大学

高岡法科大学の教育

大学での学びに不安はありませんか?高校では法学を専門的に学んでいないので、なおさら不安を感じるかもしれません。そのような方にこそ知ってほしいのが、法学を学ぶことの価値と高岡法科大学の教育体制です。以下の3つの「教育の柱」をもとに、学生一人ひとりに寄り添った学びを実現しています。

教育の3つの柱

01 法学教育

法律を学び、生きるための知恵と方法を学ぶ

01



法律を学ぶということは、世の中の仕組みを知ることであり、身近な生活におけるさまざまなトラブルの解決方法を知ることです。憲法や民法、刑法にはなにが書かれているのか、どのように読めばいいのか、わからない場合にはどうやって調べるのか、この社会を生きるための知恵を基礎からじっくり学びます。

02 少人数教育

学生一人ひとりに目の行き届いた教育

02



学生と教職員の距離が近い高岡法科大学では、一人ひとりの学生を親身になって指導します。単科大学であるからこそできる、学生が懸命に取り組む環境の提供。高校までの自分は「これまでの」自分。高校までの学力は「これまでの」学力。高岡法科大学で学ぶことで出会う「これからの」自分に期待してください。

03 リメディアル教育 初年次教育

大学での学びを安心してスタートできる環境

03

リメディアル教育とは、大学で教育を受けるために必要な基礎学力の補完教育のことを指し、初年次教育は、大学において専門的な知識を学ぶ上で必要となる基礎を構築するための教育のことを指します。

高岡法科大学では学生一人ひとりの可能性を最大限に引き出せるよう、基礎から全力でサポートしています。高校でがんばっていた人だけでなく、これからがんばろうと思っている人も大学での学びを安心してスタートできる環境を整えています。

Learn

法学部 法学科の学び

法学は、法律の専門家になる人だけが学ぶものではありません。法律は人を守るもの。自分と誰かにやさしくなれる学問です。法的な考え方を身につけることは社会で必要とされる論理的な考え方を身につけることにつながります。

1年次

1年次には法学の基礎はもちろん、大学生として必要な基本的学力の向上を目的とした科目を学びます。

教養科目

- 法学入門Ⅰ・Ⅱ
- 経済学入門
- 基礎演習Ⅰ(ゼミ形式)
- 教養科目(情報処理・英会話・心理学・論理学・自然科学・文学・歴史・社会学・数学)
- 社会人基礎力養成講座ⅠA など

語学科目

- 英語Ⅰ・Ⅱ など

専門科目

- 憲法(人権)Ⅰ・Ⅱ
- 民法総則Ⅰ・Ⅱ
- 刑法総論Ⅰ・Ⅱ など



2年次以降

2年次からはコース制を導入。3つのコースから自分の希望の進路にあわせたコースを選択し、専門性を高めます。

公務員など地域行政サービスの担い手を目指したい

公共政策コース

法曹界や法律関係の仕事に就きたい

法専門職コース

ビジネスの分野で法律の知識を活かして幅広く働きたい

企業経営コース

取得可能な資格・検定

司法書士 行政書士 社会保険労務士 税理士 宅地建物取引士 法学検定 日商簿記検定
ファイナンシャル・プランナー 実用英語技能検定(英検) TOEIC® ビジネス実務法務検定
ビジネス・キャリア検定 コンピュータサービス技能評価試験

教員紹介

●学長
石崎 誠也 [公法学]

●副学長
高橋 正樹 [公法学、地方自治]
八坂 徳明 [経済政策、社会学]

●学部長
朴木 智司 [物理学(固体物性理論)]

●教授
石川 啓雅 [農業経済学、経済学、労働問題]
金岡 克文 [金融システム論、比較金融制度論]
高倉 史人 [商法、日本法制史]
西尾 憲子 [刑事法(刑法、刑事政策、犯罪学)]
野口 教子 [会計学、税法]
森脇 祥弘 [商法、知的財産法]
榎葉 伸一 [労働法、雇用政策、労働市場分析]
吉田 靖之 [国際法]

●准教授
荒邦 啓介 [公法学]
石田 瞳 [民事法学、医事法、医療社会学、医療情報学]
屈 莉 [認知言語学]
白石 佳和 [日本文学、日本語教育]
向井 理恵 [認知言語学]

●専任講師
王 学士 [商法、知的財産法]
後藤 亜季 [民事法学(家族法)]
隅田 勝彦 [刑事訴訟法]
山田 雄大 [刑法]
渡部 朗子 [民事法学]